

“第4回遺伝子治療国際シンポジウム”

[プログラム] (同時通訳付き)

13:00 -13:15 主催者挨拶：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議

理事長 清水 當尚

オーガナイザー挨拶：大阪大学大学院医学系研究科遺伝子治療学

教授：金田 安史

13:15 -14:50

第1部：遺伝子治療のための技術革新

座長：田畑泰彦（京都大学再生医学研究所） 玉井 克人（大阪大学大学院医学系研究科）

黒田俊一（大阪大学産業科学研究所）

“生体組織への遺伝子導入のためのバイオナノカプセル技術の開発”

保富康宏（三重大学 医学部）

“人工ウイルス粒子の経口投与による遺伝子ワクチンの開発”

Philip Gregory (Sangamo BioSciences, Inc.)

“人工的に設計した DNA 結合蛋白を用いたゲノム治療薬の開発”

14:50-15:20 休憩（コーヒープレーク）

15:20-16:55

第2部：感染症の予防と治療 (15:15- 16:45)

座長：川瀬一朗（大阪大学医学系研究科），谷憲三郎（九州大学大学院医学系研究科）

David Veil Morrissey (Sirna Therapeutics, Inc.)

“SiRNA を用いた B 型肝炎治療法の開発”

岡田全司（近畿中央病院疾患センター）

“HSP65 遺伝子と IL-12 遺伝子を封入した HVJ リポソームによる新規結核ワクチンのカニクイザルモデルにおける検討”

奥田研爾（横浜市立大・医学部）

“新しいウイルスベクターを使用したエイズに対する治療的予防的ワクチンの開発”

16:55-18:00

第3部：神経変性疾患の予防と治療

座長：武田雅俊（大阪大学大学院医学系研究科），森下竜一（大阪大学大学院医学系研究科）

岩田修永（独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター）

“アミロイドベータ蛋白質を標的としたアルツハイマー病の遺伝子治療法の開発”

Jeffrey Ostrove (Ceregene, Inc.)

“神経系増殖因子の基礎研究から臨床応用；アルツハイマー病とパーキンソン病の遺伝子治療の現状”